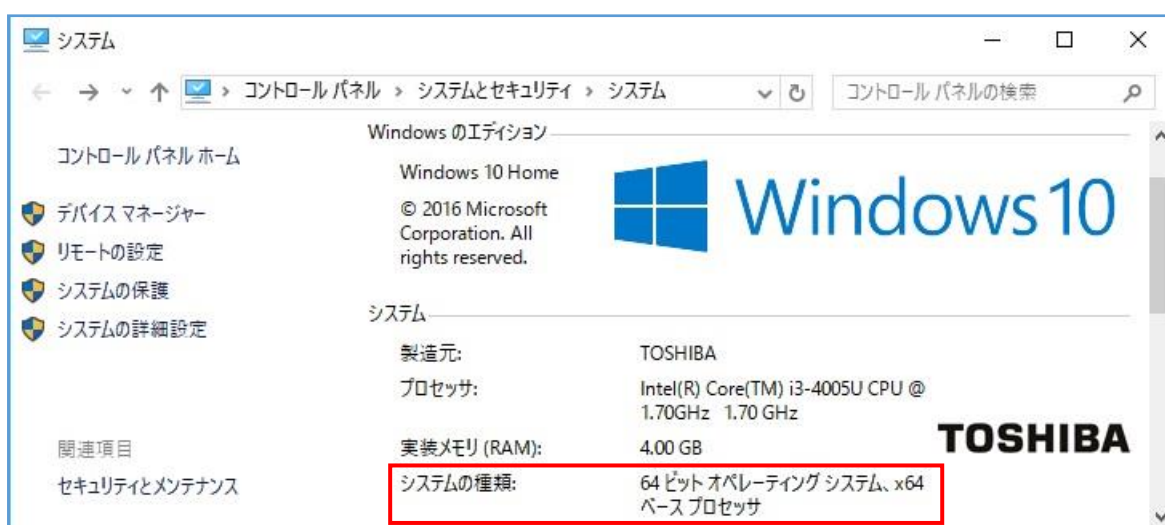


## SWT & SAMAC シリーズ USB 転送ドライバのインストール

Windows PC を使用して膜厚計 SWT & SAMAC シリーズの USB 転送を行うには、専用ドライバのインストールと COM ポートの確認が必要です。

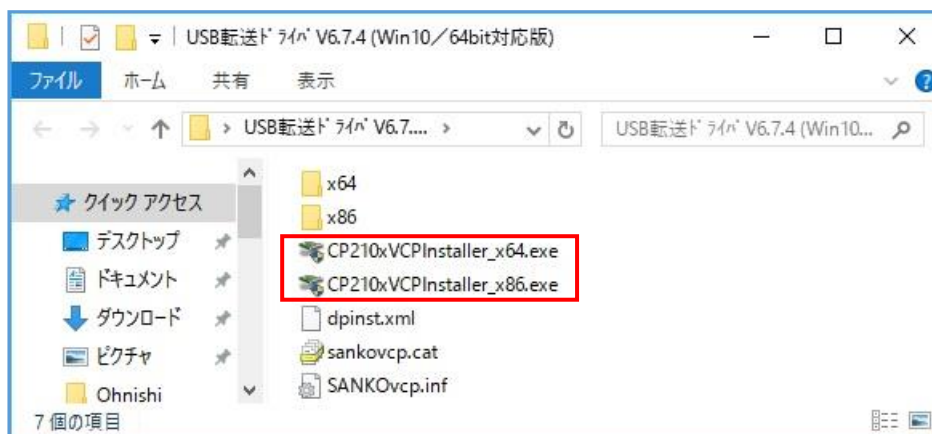
### ご使用の前に

- ・ 本ドライバは Windows 7, 8, 8.1, 10, 11 の 32/64 ビットのパソコンで使用できます。XP および Vista のパソコンを使用する場合は、弊社ホームページから旧バージョンのドライバをダウンロードしてください。
- ・ 本ドライバには 32 ビット版と 64 ビット版の 2 種類があります。パソコンのビット数に応じてドライバを選択する必要があるため、事前にビット数を確認してください。  
※Windows 10 の場合、[スタート] ボタン(☰) を右クリックし、[システム] をクリックするとビット数が確認できます。

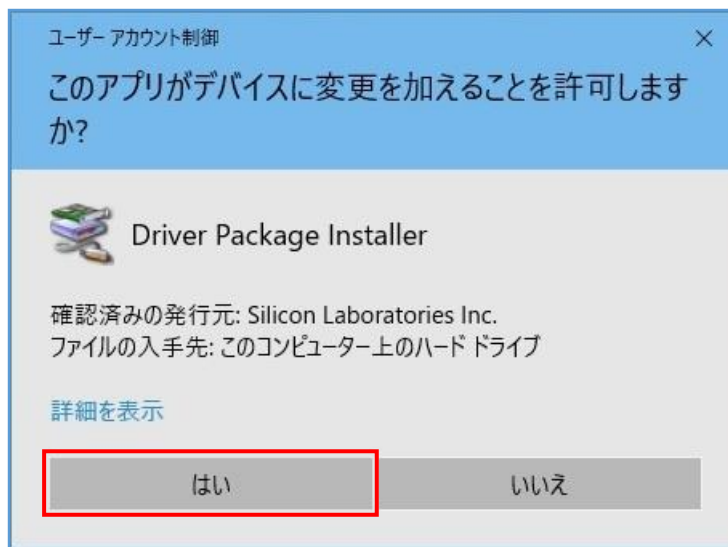


### 1. ドライバのインストール

- ・ パソコン起動後に管理者権限のアカウントでログインし、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
- ・ CD-ROM を開き、日本語取扱説明書の「転送」フォルダ内にある「USB 転送ドライバ V6.7.4」フォルダをダブルクリックします。
- ・ 次に、パソコンのビット数に応じて [CP210xVCPInstaller.exe] を選び、ダブルクリックしインストール作業を開始します。  
※パソコンが 32 ビットの場合は [CP210xVCPInstaller\_x86.exe]、64 ビットの場合は [CP210xVCPInstaller\_x64.exe] を選択してください。



- 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が出た場合は、**はい**をクリックし続けます。



(注 : Windows10 の場合)

- インストール画面が表示されるので、**次へ(N)**をクリックします。

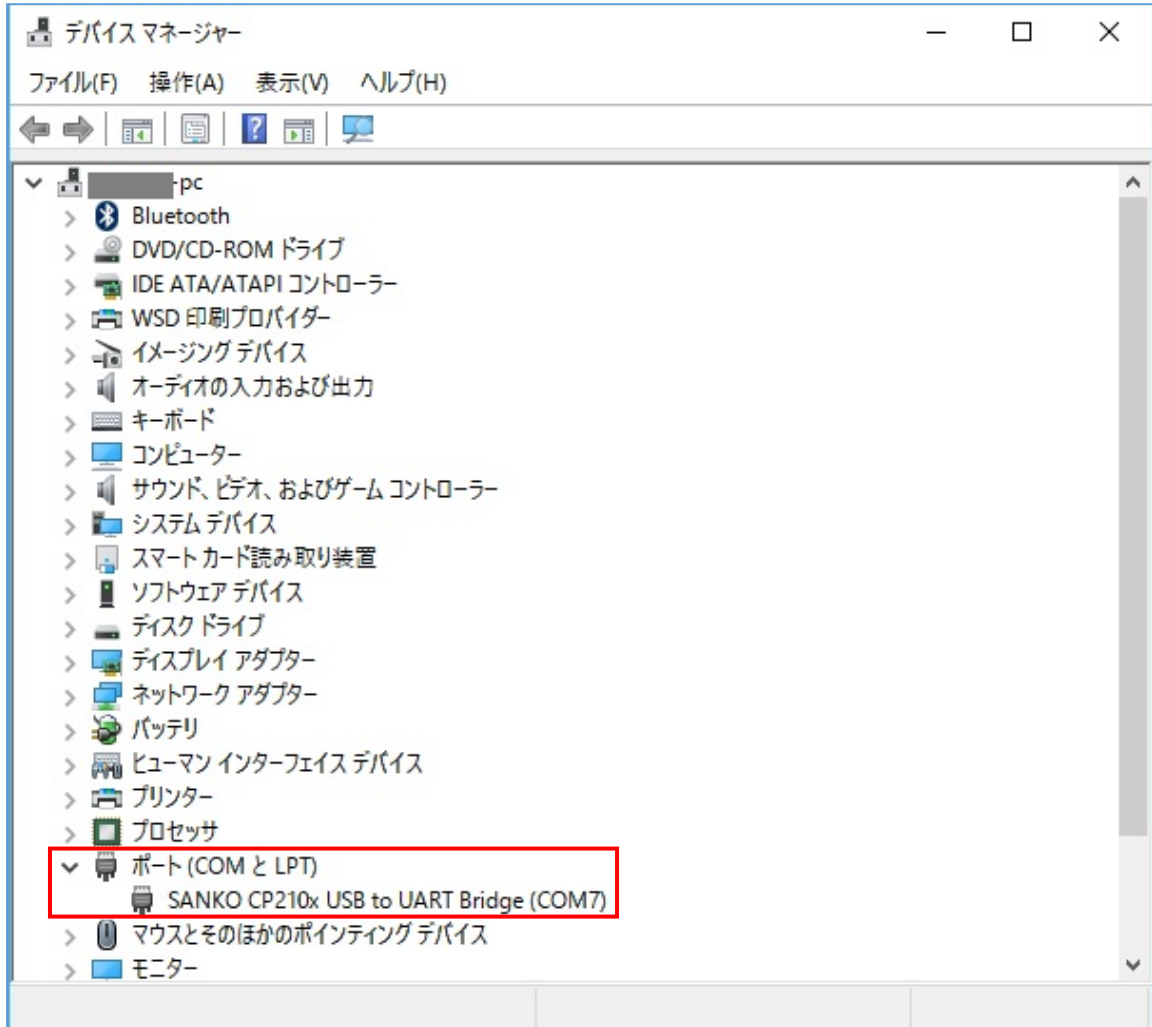


- 完了**をクリックするとインストール作業は終了です。



## 2. COMポートの確認

- ・ インストール完了後にパソコンと膜厚計を USB ケーブルで接続します。
- ・ デバイスマネージャーを起動し、画面上の [ポート (COM と LPT)] をクリックします。  
※Windows 10 の場合、[スタート] ボタン(☰) を右クリックし、[デバイスマネージャー] をクリックして起動します。



- ・ [SANKO CP210x USB to UART Bridge (COM?)] の表示と COM ポート番号を確認します。

以上

V6.7.4 July 2017  
(更新 Dec. 2022)